

世界遺産登録推進シンポジウム2017

# 立山砂防国際シンポジウム

—日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に—

開催日時

平成29年 **10月1日** (日) 13:30~17:00  
(開場/13:00)

会場

砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー  
(東京都千代田区平河町2-7-4)

募集定員

**500名** (要事前申込、入場無料)

■プログラム (日英同時通訳)

○講演 1

「わが国防災遺産の系譜と立山砂防」(仮)

独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所

保存科学研究センター

近代文化遺産研究室長 北河 大次郎 氏

○講演 2

「自然と共生した世界に誇れる防災遺産・立山砂防」(仮)

富山県知事 石井 隆一

○アニメ映像上映

立山砂防の世界遺産登録推進アニメ映像

○パネルディスカッション

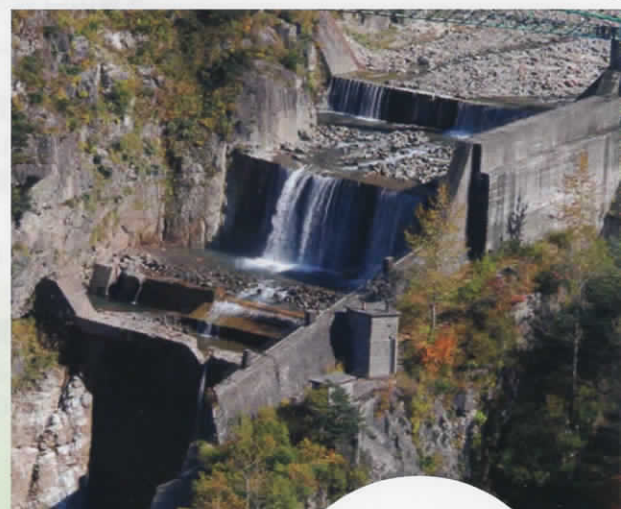
【コーディネーター】

西村 幸夫 氏 (日本イコモス国内委員会委員長)

【パネリスト】

アルフレッド・ルイス・コンティ 氏 (イコモス副会長) / 郭 旃 氏 (前イコモス副会長)

北河 大次郎 氏 (東京文化財研究所近代文化遺産研究室長) / 松浦 晃一郎 氏 (前ユネスコ事務局長) / 石井 隆一 (富山県知事)



白岩砂防堰堤 (重要文化財)

ご来場を  
お待ちしております  
**入場無料**

《申込方法》

裏面申込書でお申し込みください。

※定員を超えた場合、お断りの連絡をさせていただきます。

主催 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会

(事務局) 富山県総合政策局企画調整室、土木部砂防課、教育委員会生涯学習・文化財室

# 立山砂防国際シンポジウム

—日本固有の防災遺産 立山砂防の防災システムを世界遺産に—

◎開催日時/平成29年 10月 1日(日) 13:30~17:00 <開場13:00>

◎会場/砂防会館別館 シェーンバッハ・サボー  
(東京都千代田区平河町2-7-4)

砂防会館までの最寄駅 地下鉄永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)  
4番出口 徒歩1分



## 開催趣旨

富山県は、関係機関や民間団体等と連携協力しながら、富山県が世界に誇る防災遺産である、立山カルデラの歴史的砂防施設群の世界遺産登録を目指し、顕著な普遍的価値の調査研究や検証を進めてきました。

今般、これまでの調査研究の集大成として、また、富山県で来年開催される国際防災学会(インタープリメント)を見据え、東京で国際シンポジウムを開催します。

世界遺産の最前線で活躍する専門家による講演やパネルディスカッションをとおして、立山砂防の歴史的・文化的な価値や魅力を広く発信します。



本宮砂防堰堤(登録有形文化財)



国土地理院の基盤地図情報標高10mメッシュを使用

## 立山砂防の防災システム(立山カルデラの歴史的砂防施設群)

富山県の立山には、世界に類を見ない降水量に加えて、膨大な崩壊土砂が堆積する立山カルデラが存在します。この厳しい自然環境の中に、長年に亘り崩れを防ぎ、流れ出す土砂を止め、下流の富山平野に住む人々を土砂災害から守り続けてきた立山カルデラの歴史的砂防施設群が存在します。

砂防堰堤としてはわが国初の重要文化財となった「白岩砂防堰堤」は、昭和14年(1939)に建設され、副堤を含めると高低差が日本一(108m)の巨大堰堤です。

また、昭和12年(1937)に建設された「本宮堰堤」は、500万立方メートルという日本最大の貯砂量を誇る砂防堰堤です。

これらの防災遺産は今なお現役であり、国土保全に重要な役割を担っています。

## 参加申込方法

郵送またはFAXでお申込みください

はがきまたは下記様式に、郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数(1回のお申込みで4名まで)をご記入のうえ、郵送またはFAXでお申込みください。 9月20日(水)必着

申込先

〒930-0003 富山市桜町1丁目1番36号 富山地铁ビル 1階

立山砂防国際シンポジウム係 TEL076-431-7581 FAX076-444-0679

※応募多数の場合は抽選とし、追って聴講券を郵送にてお送りします。

※個人情報、本シンポジウムの聴講券および受付のみに使用いたします。

お問合せ先

富山県総合政策局企画調整室内 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会事務局 TEL:076-444-4604

<切り取り線>

申し込み用紙

立山砂防国際シンポジウム

FAX:076-444-0679

住所 〒

ふりがな

氏名

参加人数

名 電話番号